

SANS FRONTIÈRES

vol.31

水戸葵陵高等学校ホームページ <http://www.kiryu.ac.jp/>

総合学習発表会 2年生



10月6日(土)、2年生医歯薬コースによる医療をテーマとした総合学習発表会が行われました。各グループのテーマは、

- 「1.感染症という観点から見る日本の医療技術」 「2.アレルギー性鼻炎と向き合う」
- 「3.臓器移植のこれから」 「4.難病患者へのサポート」
- 「5.ネズミが動物実験に使われる理由」 「6.睡眠障害の種類」
- 「7.白血病」 「8.茨城県とがん」です。

興味を持ったテーマ内容から課題を挙げて意見をまとめ、パワーポイントに概要をまとめて発表をするというシンプルな作業ですが、実際に発表をしてみると各グループ工夫を凝らして発表している姿が見えました。英語で流暢に発表する班や聴講側と動物実験に対する意見が飛び交う班もありました。「発表」という機会があまり無い生徒たちにとって、発表した2年生、来年発表する1年生ともに違った観点から刺激を受け、個々に学んだ事があったようです。今回聴講した1年生は、この体験を持って来年の研究テーマをこれから選んでいきます。

福祉会館見学



1日 HR の事前学習の一貫として、水戸市内にある総合福祉会館で行われている福祉機器の展示を見学に行きました。

介護される側と介護する側にはどんな配慮があるのか、実際に見て、触れて、時間いっぱいまで見学していました。その後に行われた1日 HR への関心・意欲を高めることのできた充実した内容となり、大変満足の内々になりました。

1日HR 国際福祉機器展

10月10日に医歯薬コース1, 2年生が東京・お台場へ1日ホームルームへ出かけてきました。まず最初に東京ビックサイトで開催されていた「国際福祉機器展 2018」へ向かいました。大きな展示から小さな展示と多種多様な展示内容に関心を持ち、多くの生徒が探求心を持って見学をしていました。ある班は錠剤や苦い薬を飲みやすくするための服薬ゼリーに興味を持ち、ある班は福祉機器を備え付け自家用車に試乗するなど、普段は体験できないものに触れることができました。広い会場内には高齢者や身体が不自由な人のためのみならず、その方々を介助、介護する方へも配慮された展示や発表があり、生徒たちも充実した時間を過ごすことができたようです。それも事前に行われた福祉会館見学において多少なりとも福祉機器に触れることができたからだと思います。さらに大規模な展示会・国際福祉機器展で興味や関心を広げ、学習意欲につながっていけばと思います。



1日HR 東京都市大学



写真1

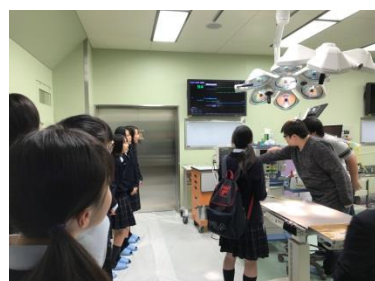


写真2



写真3

1日ホームルームの午後に2年生は東京都市大学医用工学科を見学しました。

バランスセンサーによる臨床工学体験(写真1)、手術室体験(写真2)、電動車椅子体験(写真3)をさせていただきました。特に手術室体験では消毒、心電図モニター、照明、メスなど実物を揃えており、本物の手術室を体感できるものでした。病院の室内がピンクである理由は人に落ち着きを与える色であること、照明は影にならないように設計されていること、消毒は手をかざすタイプである理由など、ドラマで見る風景がそこにあり、その理由もきちんとあることがわかりました。あまり見ることでできない施設を見学でき、医療従事者になる志を高めるとともに、進路選択の視野を広げる機会にもなりました。

1日HR 日本科学未来館



1年生は1日HRの午後は日本科学未来館に見学へ行きました。

館内で見学では、ロボットなどの最新のテクノロジーから地球環境、宇宙の神秘、生命の不思議まで、あらゆる分野における最先端の科学技術を体験することができました。

また、今年度からクラスごとにワークショップを取り入れました。題材は「ゲノム編集」についてで、ゲノム編集を認めるか認めないかを、様々なケースから考えていきました。事前学習として、生物の授業で学んでいたということもあり、グループ内で活発に意見が飛び交いました。そして、自分の意見だけでなく他人の意見を聞くことにより、意見が変わる生徒も出て、とても有意義なグループワーク活動ができました。

こじま内科クリニック訪問

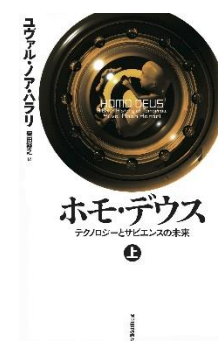
9月15日(土)に水戸市米沢町にある個人診療所「こじま内科クリニック」を訪れました。診療を終えた午後、時間を作っていただけることになりました。

診療所に入っただけで、スリッパは毎回殺菌しているという細やかな配慮があることに驚きました。まずは診療所内を見学させていただき、数々の医療機器の説明や、診察室が2つ用意している理由などを聞きました。さらに対談に時間をとっていただき、診療についてのこと、診察でのエピソード、医師としての心構え、地域貢献などたくさんのお話を聞くことができました。内科医なのに頭を縫ったりしたこと、外来で中央病院にも勤務していること、産業医・校務医としても貢献していること、何より一度も休診したことがないことに、素晴らしい医師とはこのような方のことなのだ実感しました。

先生の仕事ぶりや人柄に触れ、なぜ評判が良いのかがわかったような気がします。医師を目指す気持ちをますます高める機会となりました。



推薦図書



「ホモ・デウス」

河出書房新社 ユヴァル・ノア・ハラリ

原題は Homo Deus「人の神」、そして副題は A Brief History of Tomorrow

「明日の略史」。著者は人類の歴史、いわば過去を描いた Sapiens も著しており、本作では人類の過去だけでなく将来への予測をしています。科学的視点・宗教的視点から、人類がなぜそのような道筋をたどることになるのかが論理的に語られています。英語版のイントロダクションは入試の原文としても扱われる可能性が高いです。飛田